歯科検定協会スペシャルコラボ企画

マウスピース矯正
初級検定試験同時開催

夏フェス

Naniwa summer festival

ナニワのIOS CAD/CAM祭

日本で買えるデジタル機器大集結！
DX技術活用術・マウスピース治療の実践ワークショップ

開催日時

2023年7月16日 SUN

開場 9:00 開演 9:20 閉会 17:00

場所

AP大阪駅前

大阪府大阪市北区梅田 1-12-12
B1F・B2F 東京建物梅田ビル

AP大阪駅前▼

協賛

Dentsply Sirona / MORITA / ivoclar / HAKUSUI / GC / FleuRir / YOSHIDA / GENOVA / SABU.inc.

主催：日本臨床歯科CADCAM学会

一般社団法人
日本臨床歯科 CADCAM 学会（JSCAD）
Japanese Society of Computer Aided Dentistry

入会のご案内

スタディグループ「JSCAD」が ISCD より日本支部としての承認されたのが 2007 年。その後、学会への移行と法人化を経て現在の「一般社団法人日本臨床歯科 CADCAM 学会」となり、今や国内最大の CAD/CAM 関連の学会に成長しました。CAD/CAM の国内の普及率はようやく 5 %を超えたところですが、CAD/CAM オールセラミックの需要の高まり、CAD/CAM 冠の 2014 年からの保険算定の開始・2020 年からの前歯への適用の拡大と、今後本格的な普及期へと突入することが確実視されています。 CAD/CAM は、全くの新しい学問だとお考えください。当学会では、CAD/CAM ユーザーや CAD/CAM テクノロジーを追及する方々が常に切磋琢磨しています。他院との差別化、一人の専門家としての躍進に、必ずや寄与することができると自負しております。CAD/CAM の未来を切り開く一員として、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・歯学部学生の方々は、当学会、また関連イベントへとご参加ください。

★ 特典 5 Benefits

1．海外研修や国内での各種コースを会員価格で受講することができます。
2．パスワード付きの会員専用ホームページコンテンツでは、最新情報等をご覧いただけます。
3．ISCD の情報をいち早く提供いたします。
4．海外研修や国内各種セミナーやセミナー＆イベントへの会員だけの先行予約も予定しています。
5．過去のセミナーのアーカイブや JSCAD ジャーナルおよび会員専用 WEB の閲覧が可能です。

★ 入会について Price

入会金 10,000 円 年会費 10,000 円（歯科医師）
入会金 5,000 円 年会費 5,000 円（歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）

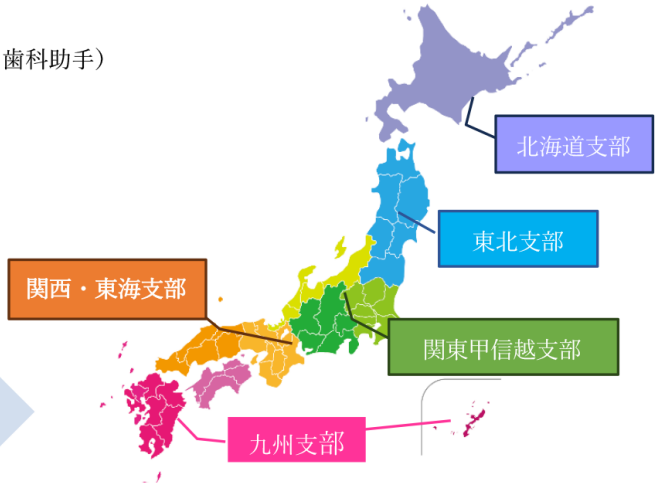
★ご入会までの流れ Flow

オンラインまたはFAXにて新規登録・入会申込を行ってください。

入会金＆年会費を、お振込みいただきます。お振込み方法などは、メールでお知らせいたします。

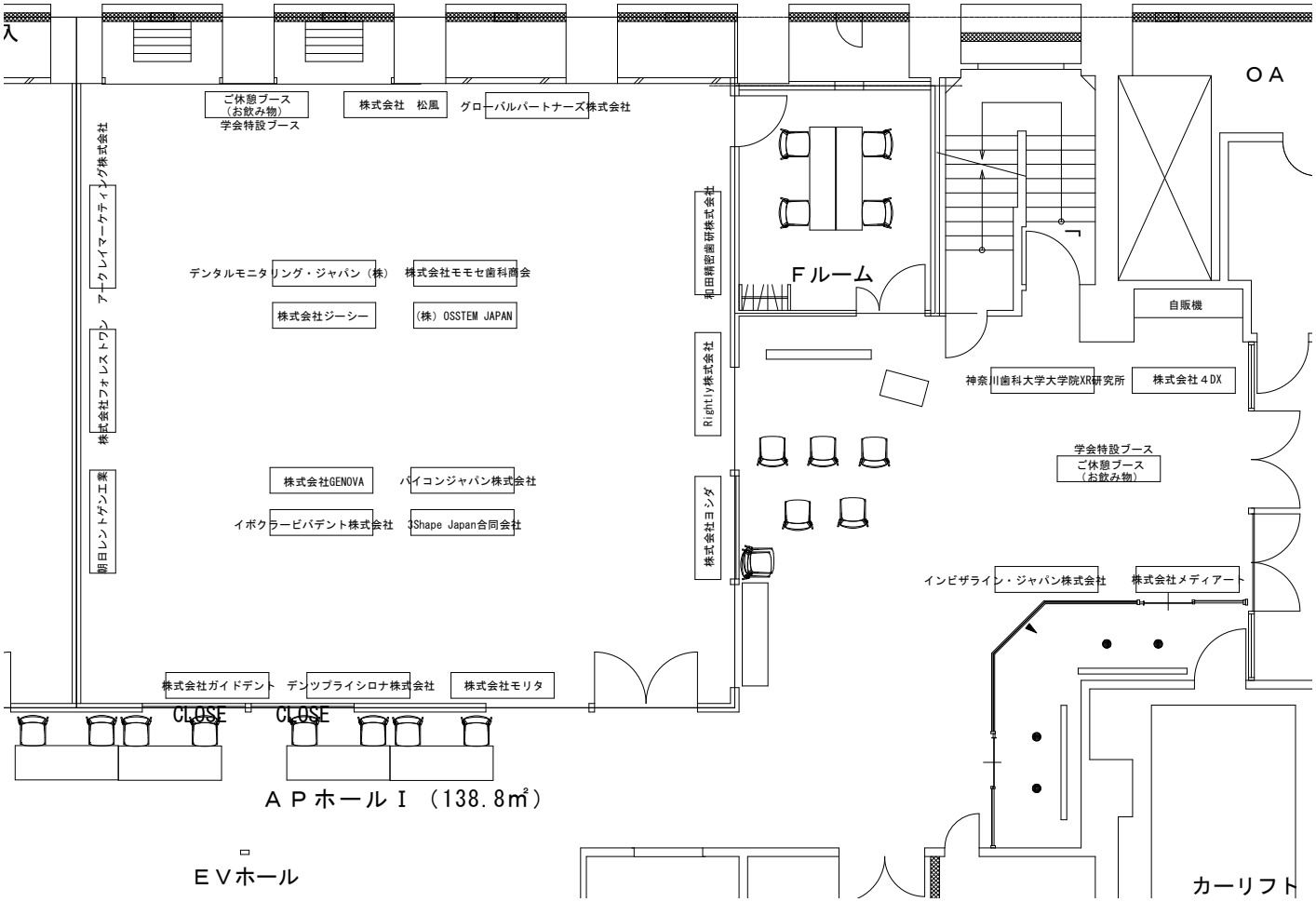
お振込み確認ののち、入会のご連絡を差し上げます。

★各支部のご案内 each branch



ご入会はこちらから

会員管理事務局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2-401
（株）ガリレオ学会業務情報化センター内
TEL 03-5981-9824　　FAX 03-5981-9852
E-mail g024jscad-mng@ml.gakkai.ne.jp


入
ＯＡ
ご休憩ブース
（お飲み物）
学会特設ブース
株式会社　松風
グローバルパートナーズ株式会社
アークレイマーケティング株式会社
株式会社フォレストワン
朝日レントゲン工業
デンタルモニタリング・ジャパン（株）
株式会社モモセ歯科商会
株式会社ジーシー
（株）OSSTEM JAPAN
和田精密歯研株式会社
Rightly株式会社
株式会社ヨシダ
Ｆルーム
自販機
神奈川歯科大学大学院XR研究所
株式会社４DX
学会特設ブース
ご休憩ブース
（お飲み物）
株式会社GENOVA
バイコンジャパン株式会社
イボクラービバデント株式会社
3Shape Japan合同会社
インビザライン・ジャパン株式会社
株式会社メディアート
株式会社ガイドデント
デンツプライシロナ株式会社
株式会社モリタ
CLOSE
CLOSE
ＡＰホールＩ（138.8㎡）
ＥＶホール
カーリフト

企業配置図

目次

入会のご案内	2
企業配置図	3
目次	4
理事長挨拶	5
会長挨拶	6
実行委員長挨拶	7
タイムテーブル	8
特別公演＆スペシャル企画	9
特別公演抄録	
板宮 朋基	10
吉住 淳	12
穴沢 有沙	13
難羽 康博	14
ランチョンセミナー	15
会員発表抄録	
堀　良彦	16
神谷 光男	16
小田 洋司	17
井上 高暢	17
鈴木 豪	18
卜部 詩衣名	18
高田 仁美	19
松江 亜美	19
支部会・JSCAD主催　CAD/CAMクリニカルコースのご案内	20/21
学術大会案内・アンケート	22/23

理事長挨拶

一般社団法人 日本臨床歯科CADCAM学会

理事長　蕭 敬意　Sho keii

一昨年から続いたコロナ禍の影響で、多くの対面事業は中止となりましたが、本会では昨年夏頃より、少しずつ通常開催で進めてまいりました。会員の皆様には、感染予防を講じながらのご参加を頂き、心より感謝申し上げます。

その様な環境の中、多くの先生方に本会の主旨にご賛同を頂きそしてご入会賜り、会員数は690名(2023年6月現在)となり、年内にも700名を越す勢いであります。
会員数の増加とその責務の重さを役員一同、しっかりと受け止め、更なる事業拡大に邁進する覚悟であります。

今年の夏フェスは『ナニワのIOS.CAD/CAM祭』をテーマにAP大阪で開催いたします。
多くの方々にご来場頂きたくお願い申し上げます。
ご来場の折には、発展著しいデジタルデンティストリーをご堪能いただきたいと思います。

本学会のあるべき所は、日常臨床に有益な情報を伝える事でもあります。
また、歯科CAD/CAMの発展に寄与することであります。
危機的な状況になっている歯科技工士不足等の大きな課題についても、歯科CAD/CAM医療が充実することによって解決に近づくものと考えています。
本会はこれからもCAD/CAMシステムの発展に寄与し、引き続き社会での役割を果たそうと考えています。今後とも皆様からの変わらぬご理解とご支援を賜われますようにお願い申し上げます。

会長挨拶

一般社団法人 日本臨床歯科CADCAM学会

会長　北道 敏行　Toshiyuki Kitamichi

このたびこの大阪の地において、日本臨床歯科CADCAM学会サマーフェスティバルを開催させていただくことになりました。本学会関西支部長寺村俊先生をはじめ、ご参会くださいます皆々様へ心から御礼と歓迎のご挨拶を申しあげます。

さて、当サマーフェスティバルのテーマは「ナニワのIOS CAD/CAM祭り」であります。サブタイトルは『日本で買えるデジタル機器大集結・DX技術活用術・マウスピース治療の実践ワークショップ』であります。ご承知のごとく、現在国内において様々な機種が販売されています。これからのデジタル機器のあるべき姿が、わずか一日のサマーフェスティバルで、ことごとく明らかになるとは思いませんが、それに近づく幾筋かの展望、展開の扉を開けるヒントを皆様に提供できると考えております。

もとより「歯科DXの未来像」は、「歯科医療の未来」を考えずして描けるものではありません。コロナ禍が過ぎ去り、我々を取り巻く環境は大きく変化しました。これまでの歯科医療の長い伝統を踏まえた上で、歯科の変革期におけるデジタル歯科技術の挑戦を期待できるようなサマーフェスティバルにしたいと考えております。例えば、海外に目を向けるとヨーロッパ諸国では歯のアライメントを行ったのちに修復工程に移行するのが正しい処置基準となりつつあるそうです。歯科医療のの未来像のキーワードは「高度デジタル化とDX」と想定します。「高度専門化する歯科DXに求めるもの」と相まって、皆様方の心に残るサマーフェスティバルになるであろうと思います。

講演内容を見ましても、あるべき未来を見通そうとの姿勢がつよく感じられるものが多く、聴衆一同にとり大きな利益になる内容が大きいと期待しております。

このように魅力ある企画を実現してくださった準備委員の方々と、本日の運営にあたられる皆様へ感謝申しあげますとともに、ご参会の皆様にとりまして実りある一日となりますよう祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

実行委員長挨拶

一般社団法人 日本臨床歯科CADCAM学会

夏フェス実行委員長・関西東海支部長

寺村 俊　Shun Teramura

本日は第３回日本臨床歯科CADCAM学会合同支部会（夏フェス）にご参加頂きまして誠のありがとうございます。本年５月より新型コロナが「５類感染症」にとなり、対面式の開催を楽しみにされていた方も沢山いらっしゃると思います。夏フェス実行委員一同も皆様のお目にかかること楽しみにしておりました。

さて、この度『ナニワの IOS CADCAM 祭り』と称して『日本で買えるデジタル機器大集結・ DX 技術活用術・マウスピース治療の実践ワークショップ』を企画し、特別講演に歯科医師・他の各職種別に５名の著名な先生を迎え、幅広く学べる内容としました。特別企画では、マウスピース矯正の基礎的な知識を多くの先生・他職種の方に学んでいただくまたとない機会をお作りしました。午前の会員発表では、今回のテーマにそって日頃取り組んでおられるCADCAM・IOSから矯正にいたる、日常臨床の成果を発表いただき、参加の会員の先生方と議論できる良い機会と考えます。

また、今回は協賛企業様の中から多くの興味をひく商品を展示をいただき、ランチョンセミナー・企業CM動画等限られた時間ではありますが、最新のCAD/CAM機器などに直接触れるチャンスですので、是非とも企業様ブースへ足を運んで頂きたく思います

また来年は関西から東海への開催予定でございます。そこでは今回の反省点を活かして会員の皆様により喜んで頂ける夏フェスにしたく思います。 末尾ながら今支部会開催にご尽力いただいた実行委員会の皆様、関係者の普様に心より感謝申し上げます。

プログラム：タイムテーブル

A会場

9:00 **開場**

9:20 **開会挨拶**
理事長　蕭 敬意 先生

夏フェス実行委員長　寺村 俊 先生

9:30 **会員発表**
①堀　良彦 先生（淡海デンタルクリニック）
②神谷 光男 先生（カミタニ歯科）
③小田 洋司 先生（おだ歯科医院）
④井上 高暢 先生（こばやし歯科クリニック）

10:45 **基調講演**
演者：板宮 朋基 教授（神奈川歯科大学）
演題：VR/ARから空間再現へ
～高精細裸眼立体視ディスプレイが切り拓く
3D可視化の新たなステージ

12:30 **ランチョンセミナー**
企業：デンツプライシロナ株式会社
演者：林 一夫 先生（ 日本橋はやし矯正歯科 ）
演題：～Sure Smile Alignerの臨床～

13:45 **特別講演**
演者：新渡戸 康希 先生（池袋みんなの歯医者さん
矯正歯科・こども歯科クリニック院長）
演題：まだ間に合う！2030年問題を見越した、
GPにできるアイライナー矯正の極意

15:20 **特別講演**
演者：吉住 淳 先生（ 医療法人社団生美会 ）
演題：CAD/CAMが実現する、
よりサステナブルで確実な
アライナー矯正歯科臨床の未来

16:45 **閉会挨拶**　会長　北道 敏行 先生

B会場

9:30 **マウスピース矯正初級認定試験**
『一般社団法人 歯科検定協会・日本臨床歯科 CAD CAM学会コラボ企画』
第一会場(B1Aルーム) 第二会場(B1Eルーム)

15:20～　合格発表（B2 ロビー特設会場）

11:00 **会員発表**
①鈴木 豪 先生（医療法人三矢会池田歯科診療所）
②卜部 詩衣名 先生（医療法人三矢会池田歯科診療所）
③高田 仁美 先生（草津駅前デンタルクリニック）
④松江 亜美 先生
（医療法人白亜会小室歯科近鉄あべのハルカス診療所）

11:45 **シンポジューム**
座長：熊谷 俊也 先生　高松 雄一郎 先生

12:30 **昼休憩**

13:45 **特別講演**
演者：穴沢 有沙 先生　（株式会社Blanche　代表取締役社長）
演題：iOSスキャナ画像を利用した
潜在的ニーズを引き出すカウンセリング
15:50～ 出版記念販売　＆　特別サイン会
（B2 ロビー特設会場）

15:20 **特別講演**
演者：難羽 康博 先生（ アスパイヤ ）
演題：デザイン、テクノロジー、そしてこれから

特別公演＆スペシャル企画

演 題

VR/ARから空間再現へ ～高精細裸眼立体視ディスプレイが切り拓く 3D可視化の新たなステージ～

神奈川歯科大学歯学部
総合歯学教育学講座 教養教育学分野 教授
神奈川歯科大学大学院 XR研究所 所長

板宮 朋基 教授

演 題

CAD/CAMが実現する、よりサステナブルで確実なアライナー矯正歯科臨床の未来

医療法人社団生美会 吉住歯科矯正クリニック/
スマイルアクセス矯正歯科 理事長
日本矯正歯科学会認定医

吉住 淳 先生

演 題

まだ間に合う！2030年問題を見越した、GPにできるアライナー矯正の極意

池袋みんなの歯医者さん
矯正歯科・こども歯科クリニック 院長

新渡戸 康希 先生

演 題

iOSスキャナ画像を利用した潜在的ニーズを引き出すカウンセリング

歯科衛生士/マウスピース矯正研修講師
横浜関内矯正歯科プランシュ副院長

穴沢 有沙 先生

演 題

デザイン、テクノロジー、そしてこれから

アスパイヤ
デンタルCADデザイントレーナー
歯科技工士

難羽 康博 先生

会場案内

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-12-12
東京建物梅田ビル B1F・B2F（受付B1F）
■JR線「大阪駅」より徒歩2分

MEETING SPACE AP 大阪駅前

【歯科検定協会と夏フェスのスペシャルコラボ企画】

マウスピース矯正 初級検定試験同時開催

今回だけの
夏フェス特別価格として、
通常価格の半額以下で
受検可能です！

一般社団法人 歯科検定協会
The Association of Dental Examination

内容	マウスピース矯正全般の初歩の知識の習得を目標とします
日時	2023年7月16日（日）9：30 ～ 10：30（60分）
対象	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手など歯科医療従事者
受検料	3,500円（日本臨床歯科CAD/CAM学会参加者特別価格、通常7,700円）

事前対策勉強会の動画視聴：3,300円／医院

特別講演

VR/ARから空間再現へ
～高精細裸眼立体視ディスプレイが切り拓く3D可視化の新たなステージ

神奈川歯科大学歯学部 総合歯科教育学講座 教養教育学分野 教授
神奈川歯科大学大学院 XR研究所 所長

板宮 朋基 教授　Tomoki Itamiya

略歴：2004年 慶應義塾大学　総合政策学部卒業
2010年 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程修了、博士（政策・メディア）
2010年 東京工科大学　デザイン学部　デザイン学科　助教
2012年 Visiting academic of institute for Reconstructive Sciences in Medicine (iRSM), Misericordia Community Hospital, University of Alberta, CANADA
2014年 愛知工科大学　工学部　情報メディア学科　准教授
2018年 愛知工科大学　工学部　情報メディア学科　教授
2020年 神奈川歯科大学　歯学部　総合教育部　教授
2021年 神奈川歯科大学　歯学部　総合歯学教育学講座　教授、大学院XR研究所　所長

VR/ARなどのXR技術を活用した医歯学教育や手術支援の取り組みは従来から行われているが、スマートグラスやヘッドマウンティッドディスプレイ(HMD)の装着が必須であり、長時間利用時の疲労や衛生管理面で課題がある。スマートグラスは眼から1m以内に配置した3Dモデルの立体感の表現がハードウェアの仕様上困難である。我々は、裸眼立体視と近接域の精確な立体感の表現が可能な空間再現ディスプレイを活用した歯科医学教育手法を開発し、2020年から本学における学生教育に活用している。
ソニー空間再現ディスプレイELF-SR1（SONY, 2020）は、4K解像度の高精細な裸眼立体視が可能であり、HMD等の装着は不要である。演者は空間再現ディスプレイ用のアプリを複数種類開発した。「SR Anatomy」は全身の骨格と血管・神経の3D-CGモデルを立体表示できる。回転・拡大縮小・移動や骨の透過表示、注釈表示などの操作はゲームコントローラーを用いて容易に行える。「DSR View」はCT/MRI/CBCTから出力されたDICOMデータを自動的に3D-CGモデル化して立体表示できる。「SR View」は、STLやOBJファイルを同様に立体表示できる。「SRD Movie Player」は、ステレオ内視鏡で撮影した映像を裸眼で立体視できる。これらのアプリを解剖実習中の本学歯学部2年生101名および本学所属の歯科医師50名が体験した。
学生へのアンケート調査では、52%が解剖学的立体構造を「非常に良く理解できた」、32%が「よく理解できた」と回答した。70%が解剖実習の予習・復習に「非常に役に立つ」、26%が「役に立つと思う」と回答した。

<次ページへ>

特別講演

歯科医師からは「複雑な立体構造が瞬時に把握できて素晴らしい」「病変部の体積の把握や測定が容易である」「スマートグラスより立体的に見える」「DICOMデータやSTLファイルから直ぐに立体表示できて非常に便利」等のコメントを得た。これらの評価結果から本手法の有用性が示唆されている。本システムを導入した歯科クリニックでは患者説明に実用を開始しており、カウンセリングに大変有用との評価を得られている。
モーションセンサーを併用することにより、手の動きを感知したブラッシングシミュレーターや支台歯形成シミュレーターの開発も進めている。触覚再現デバイスも併用し、精度を更に向上させることにより、ナビゲーションシステムへの応用も視野に入れている。
2023年6月に27インチの大型空間再現ディスプレイ ELF-SR2が発売された。頭蓋骨全体が実寸で表示できるため、有用性がより高まった。また、2023年3月にZTEより裸眼立体視が可能なタブレット nubia Pad 3Dが発売された。携帯性に優れているため、学生やスタッフがひとり一台所有して活用することが現実的になった。今後、裸眼立体視は教育や臨床現場において普及することが予想される。

特別講演

CAD/CAMが実現する、よりサステナブルで確実なアライナー矯正歯科臨床の未来

医療法人社団生美会 吉住歯科矯正クリニック理事長
スマイルアクセス矯正歯科 理事長

吉住 淳　先生　Jun Yoshizumi

略歴：
2000年　米・Berkshire School卒業
2004年　国際基督教大学教養学部卒業
2010年　東京歯科大学歯学部卒業
2014年　同大学矯正学講座研修過程修了
2016年　吉住歯科矯正クリニック（吉祥寺）承継開業
2017年　医療法人社団生美会設立
2019年　スマイルアクセス矯正歯科（渋谷）開業

日本矯正歯科学会認定医
インビザライン社スピーカー
デンタルモニタリング社KOL

現代の技術革新は、紛うことなき急激な進歩を遂げており、3Dプリンティングやソフトウェアの普及が加速するなかで、CAD/CAM技術は矯正臨床の現場にもその革新的な波をもたらしています。

この新たな時代においては、マウスピース型矯正装置の利用が普及し、その治療アプローチは企業主体の「何でやるか？」から個人主体の「誰がやるか？」へと大きくシフトしています。こうした個人中心のパラダイムにおいては、利益追求のみならず、環境への配慮と治療の精度を同時に高める新しいアライナー治療の開発と実践が求められると考えます。

本講演では、確実かつ効果的なアライナー矯正の実現を目指し、そのためのモニタリングシステムの設計と運用について深く掘り下げ、より持続可能な矯正歯科臨床の未来像についても、観点を広げて探求してくことを目指します。

特別講演

iOSスキャナ画像を利用した
潜在的ニーズを引き出すカウンセリング

歯科衛生士/マウスピース矯正研修講師®
横浜関内矯正歯科ブランシュ 副院長

穴沢 有沙 先生　Risa Anasawa

略歴：歯科衛生士/マウスピース矯正研修講師®
株式会社Blanche（ブランシュ）代表取締役社長
株式会社Brilliance（ブリリアンス）代表取締役社長
横浜関内矯正歯科ブランシュ 副院長
全米NLP協会マスタープラクティショナー
日本NLP協会マスタープラクティショナー
LABプロファイルプラクティシ研修を通じて伝えている。
2020年 共同開業した インビザライン矯正専門 横浜関内矯正歯科
ブランシュで臨床に従事。
学生時代はマクドナルドの大会で笑顔を認められお客様サービス係
として全国優勝し、アテネオリンピックへ派遣された。
現在はグロービス経営大学院でMBA（経営学修士）取得を目指している。

なたは補綴コンサルや矯正治療のカウンセリング、さらには定期検診の説明などをする機会はありますか？わたしは以前、こういった説明をするときに「押し売りにならないかな」と不安を抱いていた時期がありました。今は心理学を活かし、説明をせずとも相手が興味を持ってくださる「問いかけ」をすることで、患者さん自身も気が付いていない潜在的なニーズを引き出すことができるようになりました。

今回はマウスピース矯正研修講師としても臨床家としても矯正治療カウンセリングに携わる穴沢が、「問い」の方法と、iOSのスキャナ画像を利用した患者さんとの会話術をお伝えいたします。

特別講演

デザイン、テクノロジー、そしてこれから

アスバイヤ　デンタルCADデザイントレーナー
歯科技工士

難羽 康博 先生　Yasuhito Nanba

今現在、世の中は「ChatoGPT」と「画像生成AI」でザワついています。
歯科界もCAD/CAMにより変革の真っただ中にいます。
テクノロジーの進化を拒否するのではなく
取り入れてこそ、未来が開けていきます。
CAD/CAMはアナログ技工の延長ではなく
デジタル的発想を必要とする新しい分野・文化であり、
生き方をも変える必要があるものと思います。

SureSmile
Aligner

第3回日本臨床歯科CAD CAM学会
サマーフェスティバル

2023年
7/16(日)
12:30〜13:30

ランチョンセミナー

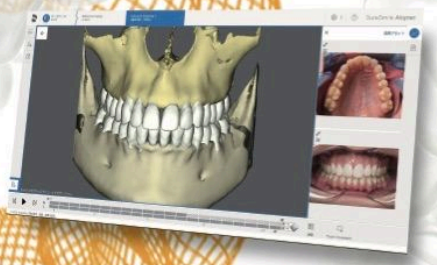
SureSmile Alignerの臨床

講師

林 一夫 先生

日本橋はやし矯正歯科

経歴
1995年　北海道医療大学歯学部卒業
1999年　北海道医療大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了・学位取得
2003年　アメリカ・ミネソタ大学歯学部口腔科学科 客員研究員
2007年　北海道矯正歯科学会 理事
2008年　アメリカ・ノースカロライナ大学歯学部矯正科 客員教授
2008年　北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系歯科矯正学分野 准教授
2011年　Digital Orthodontics 研究会 副会長
2015年　日本橋はやし矯正歯科 開院
2018年　K Braces矯正歯科原宿駅前 総院長就任
2021年　日本デジタル矯正歯科学会 副会長就任



2021年6月に発売したデンツプライシロナのデジタルアライナー矯正SureSmile。
2023年には振動型フィッティング装置Vproと保定装置リテーナーが発売となり、ますます治療効果を高めることが期待できるようになりました。
アライナー市場ではグローバルでも5年目と若いブランドに感じますが、デジタル矯正のパイオニアとして20年以上の歴史を持つ製品です。
デジタル矯正システムは、世界でもより新しい治療方法であり、常に進化し続けています。歯科用CTや口腔内スキャンデータからヴァーチャルペイシェント（仮想患者）をコンピュータ内に作り出すことで、骨の内部と歯根との関係をより正確に把握し、そして安全で確実になりました。
演者は、このデジタル矯正システムに創成期から取り組んでおり、システムに関する基礎研究から実際の治療にいたるまで、米国と国内にて多くの研鑽を積んでまいりました。
本講演では、現在日本で使用可能なSureSmile Alignerにフォーカスを当て、製品の歴史から特徴、実際の症例供覧を交えてお話しします。

日 時　2023年 7月16日（日）
12:30〜13:30

会 場　AP大阪駅前 APホールII（B2F）

定 員　50名

販売名：SureSmile ソフトウェア　一般的名称：歯科矯正用治療支援プログラム　承認番号：30100BZX00187000　管理医療機器
販売名：Essix Plasticシート　一般的名称：歯科矯正用レジン材料　認証番号：225AKBZX00098000　管理医療機器
販売名：アクセオス　一般的名称：アーム型X線CT診断装置　認証番号：302AKBZX00062000　管理医療機器　特定保守管理医療機器　設置管理医療機器
販売名：セレック プライムスキャン AC　一般的名称：チェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット　承認番号：30100BZX00044000　管理医療機器　特定保守管理医療機器

THE DENTAL
SOLUTIONS
COMPANY

Dentsply Sirona

117870_202305_1103

会員発表

＃23インプラント上部補綴にIOSを使用した一症例

A case of IOS for #23 upper implant prosthesis

堀　良彦
Yoshihiko Hori

淡海デンタルクリニック

Ⅰ.目的：IOSが販売された当初は天然歯への補綴がメインであったが、近年ではインプラント設計から補綴まで使用されるまでに進歩発展したきた。今回は、インプラント補綴にIOSをして行ったケースを報告する。
Ⅱ.概要：患者は50代女性で、主訴は#23の審美障害であった。既往歴に特に特記事項なし。現病歴は2020年8月に審美障害を主訴に当院を受診。現症では#23の欠損を認めた。口腔内の清掃状況は比較的良好。
Ⅲ.処置および経過：CTを撮影後にITI（International Team for Implantology）コンセンサスに乗っ取り通法通りにネオバイオテック®社のIS-Ⅱ active Narrow Ø3.5mmの長さ8.5mmを2020年9月に埋入を行った。治癒期間経過後にIOS(3Shape TRIOS®3)を用いて光学印象を行い。ジルコニクランをセメント合着式のインプラント上部構造を装着し審美障害を改善した。
Ⅳ.考察および結論：本症例では従来から行われているシリコン印象材によるアナログ印象ではなくIOSによる光学印象で行った。光学印象はアナログ印象とは違い、患者および術者の負担軽減に大きく貢献しており有効性がかなり高いと期待される。

世界の歯科技術の新しい流れを探る（IDS2023報告）

Exploring New Trends in Dental Technology Worldwide (IDS2023 Report)

神谷　光男
Mitsuo Kamitani

カミタニ歯科

2023年3月にドイツのケルンで開催されたIDSに参加した。ドイツ語はもちろん英語も中学生レベルなので、何をどう見て良いのかも分からずにいたが、幸運にも北道会長と御一緒に巡る機会を頂いた。広大な会場に出展ブースや人の多さなど、あらゆる物のスケールの大きさに圧倒されながら、昼食抜きで朝から夕方まで３日間歩き続けた。しかし細かい機器や材料等までは把握できなかったと感じる。ただ新しい時代の流れや、勢いのある企業などを肌感覚で感じる事が出来たのは本当に貴重な経験だった。今回はそんなIDS2023からIOS ,FaceScan,顎運動,3D Printer,AIの5項目に絞ってご報告させて頂く予定である。IDS初参加の視点から感じた事や学んだ事を皆様と共有できればと考えている。

会員発表

開咬におけるアライナー矯正の症例

Aligner orthodontics in open bite case

小田　洋司
Hiroshi Oda

おだ歯科医院

IOSの進化の中にアライナー矯正は必須のものになってきました。また、アライナー矯正も様々なものがそろってきました。今回、日本導入から２年が経った、Sure Smile（デンツプライシロナ社）を用いた症例を発表させていただき、Sure Smileのメリット、またアライナー矯正と従来のマルチブラケットを比較して、アライナー矯正のメリット・デメリットを見極めた上でメリットである前歯挺出・臼歯部圧下を行った開咬症例におけるアライナー矯正の実際を発表したいと思います。

歯科診療におけるデジタル技術の統合 :現状と課題

Integration of Digital Technology in Dental Practice: Current Status andChallenges

井上 高暢
Takanobu Inoue

こばやし歯科クリニック

歯科医療分野ではデジタル化が急速に進行しており、光学印象取得、コンピュータ断層撮影（CT）、人工知能によるセファログラム診断といった新たな技術が導入されています。しかし、これら異なるデータソースの統合と活用は依然として十分には達成されておらず、これが臨床現場で直面する主要な課題となっています。当発表では、現状の詳細とこれらの課題点、そしてそれらを克服するための可能性について紹介します。

会員発表

セレックの機械メンテナンスの必要性

Need for CEREC machine maintenance

鈴木　豪
Suzuki Tuyoshi

医療法人三矢会
池田歯科診療所

近年、歯科のデジタル化が進んできました。院内にもミリングマシーンを導入されてきました。しかし、使用するにあたり機械のメンテナンスが重要になってきます。機械のもっている力を１００%引き出し、機械トラブルに合わないようにするためです。
現在、５医院のミリングマシーン（いずれもセレック）を取り扱っております。
その中で起こったトラブルをいくつかご紹介させていただきます。
また、トラブルにならないようにいくつかの方法をご紹介させていただきます。

DHの診療とセレックの携わりかた

How dental hygienists are involved in ceramic treatment

卜部　詩衣名
Shiina Urabe

医療法人三矢会
池田歯科診療所

昨今は、患者のデンタルIQも高くなってきているものの、まだ医療従事者と患者の間には知識や理解のギャップが大きくあるように思えます。治療を進めていく上で、患者と治療概念を共有することの重要性は、ご存知の通りであります。当院では、そのギャップを埋めるためにIOS等のデジタル機器や唾液検査、細菌検査などの様々なツールを用いて説明する機会が増えました。また、最近は、より再治療の少ない、セラミック補綴への移行が進んできております。それに伴い衛生士はセラミックの知識とメインテナンス方法について理解していく必要があります。本日はそういったツールを用いた診療とセラミック治療における衛生士の携わりかたについて発表したいと思います。

会員発表

アライナー矯正についての無料相談会の実施 ～iTeroを使用した治療計画と説明～

Free consultation on aligner orthodontics - treatment planning and explanation using iTero

高田　仁美
Hitomi Takada

草津駅前
デンタルクリニック

通常の診療において歯科医師や歯科衛生士がiTeroアウトカムシミュレータを用いて無料相談を提供していますが、今回20名限定で無料の説明会を開催することが決定しました。この説明会では、会議室を活用してマウスピース矯正に関する情報やコスト、支払い手段などを説明し、実際の検査予約の段階へとつなげることを目指しています。さらに、この相談会は、既存の患者を対象としており、当院での矯正治療を検討してもらうために、治療についての理解を深める機会として提供され、治療への意欲を向上させることが可能となりました。さらに、新規患者獲得にも繋がるため、積極的に取り入れるべき施策であることがわかりました。これらの具体的な内容について発表いたします。

デジタルを使用した矯正のコンサルから治療まで～衛生士の視点から

From consultation to treatment of orthodontic treatment using digital - from a hygienist's point of view

松江　亜美
Ami Matsue

(医)白亜会小室歯科
近鉄あべのハルカス診療所

近年のiOSの発達は、補綴物の作成のみならず、コンサルや、診断、治療、患者管理に至るまで、歯科に広範囲に恩恵をもたらしています。そのため、衛生士もデジタル技術を理解し、使用する機会が大幅に増えました。矯正治療においても、当院ではアライナー矯正だけでなく、ワイヤーなどすべての矯正においてデジタル技術を使い、ドクター、技工士、TCなどとのチーム治療に役立てております。今回は、その実例を発表したいと思います。

一般社団法人日本臨床歯科CADCAM学会

北海道支部会

IOSが導く歯科医院DX

～口腔内スキャナーが拓く新たな道～

IOSやCAD /CAMの技術はハイスピードで進化しており、もはやデジタル歯科診療の知識・技術が診療に欠かせない存在になっています。

今回の支部会では日常診療でIOSをうまく活用し、クリニックのデジタル化を成功させている事例について支部会を通じてお伝えしていきたいと考えています。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士のそれぞれの視点から皆さんに有益な情報をご提供いたします。

2023.11.12(Sun)

9:30 ▶▶ 15:00

北海道歯科医師会館２F 大講堂

Main Speaker

神谷 光男

高松雄一郎

小林 祐二

和田 辰憲

with Hygienist and Technician

多数の企業展示も予定しております。
様々なIOSに触れることができるまたとないチャンスです！

詳細、申込については下記リンクまたはQRコードよりご確認ください。　＊内容は随時更新予定

https://20231112hokkaidosibu.peatix.com/view

DX INNOVATION

チームで築く
次世代CAD/CAM歯科医療

Japanese Society of Computer Aided Dentistry
JSCAD

日本臨床歯科CADCAM学会 第9回学術大会

2023 12月 2日[土] 3日[日]

会場：パシフィコ横浜［神奈川県横浜市］認定審査会も同時開催いたします

DX INNOVATION タイトルへの想い

デジタルテクノロジーを活用することと、革新的なアイデアを生み出すことはお互いに補い合うことによって新時代の歯科医療につながります。デンタルチーム全員で最高の歯科医療を提供する、そのような想いを込めてこのタイトルとしました。

学術大会のご案内

アンケートにご協力お願いいたします
アンケートのQRコード　URL

https://questant.jp/q/AM7MQKKX